

## 評価にあたって

令和5年度事業実施状況報告書の中から、主に事業実績が低い項目を中心に黄色部分の8項目10箇所を評価しています。

## 総括評価

少子高齢化、人口減少が一段と進む中で、年齢や性別を問わず、様々な困難を抱える人々が増えてきています。

令和2年度に実施した「朝倉市男女共同参画に関する市民意識調査」では「男は仕事、女は家庭」に『同感しない』女性が8割弱、男性が7割と前回の調査より男女とも17.5ポイントと大幅な意識の向上が見られました。しかし今なお根強く残る固定的性別役割分担意識や慣例や慣習を取り除き、男性中心の企業風土の是正及び男性育児休業取得率の向上や、住みやすい地域づくりのために、男女共同参画への啓発が男性にも女性にも強く求められています。

令和5年度は、女性比率40%の目標は達成できなかったものの、女性登用率35.6%（全ての審議会等）となりました。今後、国、県に準じて女性比率40%以上の目標達成に向けて、クォータ制導入や公募制、地域の役職への女性登用拡大、選出母体の見直し等、具体的な女性比率を向上させるための工夫を図っていただきたい。

また、男女共同参画センターを拠点に、男女共同参画に関する啓発、教育や施策・方針決定の場への女性の参画、相談窓口の充実になお一層の努力を望みます。